地域医療支援病院の実地検査実施状況

参考資料３-１

《経過》

■ 令和4年度病院新増設部会において実地検査を強化・重点化することで地域医療支援病院の活動状況を把握し、必要に応じて適切な指導を行っていく方針決定がされた。

■ そこで、令和5年度以降年間約10病院の実地検査を行い、令和９年までの5年間で、平成27年度以降実施していない既承認病院の実地検査を実施することとした。

《令和６年度実地検査の実施状況》

　　　　【実施期間】

　　　　　〇 令和６年９月～令和６年２月　（※ 原則保健所の定期立入検査と同日に実施）

　　　　【対象施設数】

　　　　　〇 １２施設

　　　　　　・ 平成28年度以降実地検査未実施の既存病院に**10施設**

　　　　　　・ 新規承認翌年の実地検査について

令和5年度に実施予定であった**2施設**（令和4年度新規承認）について未実施

であったため、令和6年度に実施 （令和5年度は新規承認なし）

　　　　【重点検査事項（令和５年度実績）】

　　　　　① 紹介・逆紹介件数のカウント方法

　　　　　② 地域の医療従事者の資質の向上を図るための研修の実施状況

　　　　　③ 委員会の開催状況

　　　　　④ 法定施設・設備の確認

※ ②、③について…新型コロナウイルス感染症の影響により延期又は休止の措置をとって差し支えない取扱いが、令和5年3月27日通知により令和4年度実績までをもって廃止されたことを受け、令和5年度の研修及び運営委員会の開催について重点事項とする。

《実施結果》

　　〇 口頭指導（12施設）

・ 紹介・逆紹介件数への算入が適当ではない事例が散見された。

（老健施設や、介護医療院などの施設への紹介・逆紹介、単なるお礼状や報告、検診を主とする医療機関への逆紹介など）

・ 地域の医療従事者への研修について、対象人数に福祉職（ケアマネジャーなど）が含まれてい　る事例が散見された。

・ 研修の実施主体が当該病院であることが不明確な研修が散見された。

・ 委員会の開催について、地域医療支援病院の業務報告が中心となっており、外部委員からの発言が少ない事例が散見された。

　《実地検査による効果》

　　◆ 業務報告の書面確認だけでは把握できない運営状況の聞き取りができる。

　　◆ 承認取得後の病院担当者の交代等により、あいまいな運用となっているなどの現状把握ができる。

次年度以降も、引き続き計画的に実地検査を実施し、地域医療支援病院の活動状況の把握と質の担保を図る。